



ジェンダー（※）の問題は女性だけのもの？



～男性はジェンダーによる生きづらさを抱えていないのか～



○講師：

きよた たかゆき

清田 隆之 さん

- ・恋バナ収集ユニット「桃山商事」代表
- ・「恋愛とジェンダー」をテーマに、コラムやラジオで発信している。
- ・twitter：@momoyama_radio



男性性（男らしさ）をテーマに、『“普通の男性たち”が抱える生きづらさと男らしさの話』

と題し、お話をさせていただきました。

令和4年6月25日（土）

テラス沼田5階 wal tzホール（議場）にて

今回のハピネスでは、その講演内容をご紹介します！

“普通の男性たち”ってどんな人たちのこと？



ここでは「受験や就職をして、結婚して家族を持って、家建てて……」など、日本社会がこれまで「普通」としてきたライフコースに当てはまるようなイメージの男性たちのこと。

バブル時代くらいまでは「会社が男性の居場所で、男性は働きに出て、家のことは女性に任せる」といった価値観が一般的だった。

しかし、就職氷河期やリーマンショックを経て、共働きや夫婦で家事を分担する家庭が増加したように、社会や時代の変化に伴い、今までの男性像や価値観が徐々に変わりつつある。



“普通の男性たち”の生きづらさって？



「男は泣いたり、弱音を吐いたりすべきではない！」「男は外で働いて稼ぐのが当然！」など、いわゆる“男らしさ”といわれるようなイメージやプレッシャーがあることが、男性たちの生きづらさや苦しみ、悩みにつながることも……。

埼玉県男女共同参画推進センターが実施している「男性心理療法士による男性専用の電話相談」への相談件数は過去8年で約3倍になったという。（講演より）

男性たちの抱える問題について、考えてみよう！



“普通の男性”もそうでない男性も、**当事者**として、男性性や男性同士の関係性において傷ついた体験に目を向けたり、ジェンダー平等と自分との関わりなどを考えたりすることができるようになると良い。そして、**安心して自分語りのできる、話し合いの空間**のようなものを作れるようになると良い。

これまではジェンダーの問題というと、女性に焦点を当てて語られることが多かった。しかし、近年、“男は男らしく”のような価値観によるプレッシャーなど、**男性が男性であるが故に抱える生きづらさや苦しみ、悩みといった問題**を、改めて考えてみようという**男性学**が注目されている。
(講演より)

講演会参加者の声

今の時代をいろいろな角度から見直せる機会となりました。男だから、女だからではなく人としてどういう風に生きていくか、改めて考えていきたいと思います。

男だったら...、女だったら...、普通なら...ととられることが多いので有意義な講演でした。

若い時にこのような講座に参加出来ていたらと考えてしまいました。

編集を終えて

★紙面を作成した委員によるコメント★

- ・男性女性に限らず、こうあるべきだと決めつけずに、様々な角度から分かり合おうという気持ちを持ちたいものです。(きみこ)
- ・男なのだから、女なのだからという決めつけが、多様性社会への大きな壁なのですよね。(のぶゆき)

誰もが自分らしく生きられる社会のために、男性たちの抱える問題について、みんなで考えてみませんか？

一人で悩まず相談してください 相談無料・秘密厳守

配偶者や恋人などからの暴力に悩んでいませんか？
一人で悩まないで相談してください。

群馬県女性相談センター

配偶者暴力相談
支援センター

電話番号 027-261-4466

月～金曜日 9:00～19:30

受付時間 土曜日 10:00～17:00

日曜日 13:00～17:00 ※祝日・年末年始を除く

※弁護士による法律相談は予約制です。

★ご意見・ご感想をお寄せください★

☆興味のある方、お問合せください☆

【編集】沼田市男女共同参画セミナー
企画実行委員会

【発行・連絡先】

市役所市民協働課 協働推進係

〒378-8501沼田市下之町888

テラス沼田3階

TEL:0278-23-2111内線3052

FAX:0278-24-5179

E-mail:kyodo@city.numata.lg.jp